

記者発表資料

平成21年3月31日

遠賀川河川事務所

平成21年度 遠賀川河川事務所 の主要事業について

<トピックス>

遠賀川河川事務所は、平成21年度より遠賀川特定構造物改築事業として中間市に位置する新日鐵用水堰の改築に着手します。

また、平成15年7月の豪雨災害で被災を受けた学頭・菰田地区及び直方地区の床上浸水対策特別緊急事業を完成させます。

【投げ込み】○直方記者クラブ ○飯塚地区 ○田川記者クラブ ○北九州記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 遠賀川河川事務所
TEL:0949-22-1830(代表)

技術副所長 深町 (内線204)

遠賀川河川事務所の概要

遠賀川河川事務所は、安全で安心した暮らしを守るために、近年頻発している洪水被害（平成11年、13年、15年）を軽減する事業を強力に推進するとともに、遠賀川河口堰や堤防・樋管等の河川管理施設の維持管理・修繕及び遠賀川の水質改善や河川の利活用促進を図る河川環境整備等を実施します。

なお、整備に当たっては、地域住民の方々の意見等を聞きながら、地域と一体となった河川事業を実施します。

平成21年度事業概要

（単位：百万円）

予算区分	平成20年度 当初	平成20年度 補正等	平成21年度 当初	対前年比	概要
河川改修費	267	228	559	1.13	堤防の強化など河川改修事業等を実施
特定構造物 改築事業（新日 鐵用水堰）	—	—	122	—	新日鐵用水堰の改築
床上浸水対策特 別緊急事業（飯 塚・穂波地区）	1,730	—	—	—	平成20年度完成
床上浸水対策特 別緊急事業（学 頭・菰田地区）	165	—	695	4.21	H15.7洪水対策として、排水機場の増設、調節地の整備を実施
床上浸水対策特 別緊急事業（直 方地区）	45	100	482	3.32	直方中心市街地の慢性的な浸水被害軽減対策（排水機場の新設）の実施
河川維持修繕費	1,903	—	1976	1.04	河川管理施設の維持管理・修繕等の実施
河川工作物関連 応急対策事業費	327	—	377	1.15	老朽樋管の応急的対策の実施
総合水系環境整 備事業費	256	—	436	1.70	遠賀川水系の河川環境・利活用促進のための整備の実施
直轄堰堤維持費	679	—	568	0.84	遠賀川河口堰の維持管理・修繕等の実施
直轄河川等災害 復旧費	—	272	—	—	護岸等の災害復旧
計	5,372	600	5,215	0.87	

注）本表は、端数処理の結果合計が一致しない場合があります。

遠賀川河川事務所における平成21年度の主要事業について

平成21年度完成予定事業

- ① 平成15年7月洪水による浸水被害対策として、平成17年度に着手した、床上浸水対策特別緊急事業(学頭・菰田地区)の完成を図ります。
- ② 慢性的な浸水被害に悩まされている直方中心市街地の浸水被害軽減対策として、平成17年度に着手した、床上浸水対策特別緊急事業(直方地区)の完成を図ります。
- ③ 平成19年度に着手した、総合水系環境整備事業(赤池地区地域連携事業)の完成を図ります。

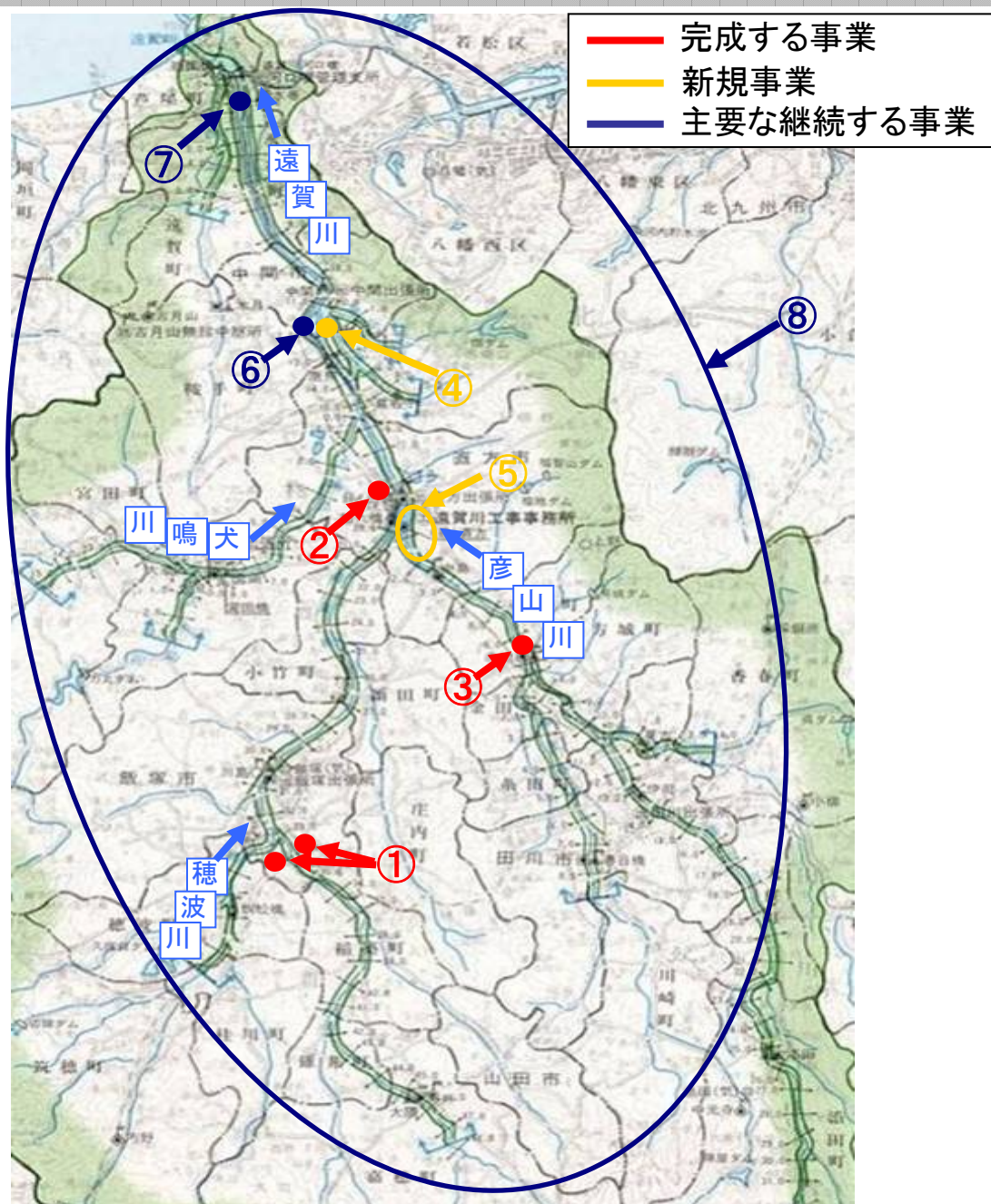
平成21年度新規事業

- ④ 遠賀川特定構造物改築事業(新日鐵用水堰)に着手します。
- ⑤ 総合水系環境整備事業(遠賀川水系エコロジカルネットワーク再生事業)に着手します。

主要継続事業

- ⑥ 平成16年度に着手した、総合水系環境整備事業(中島自然再生事業)の事業促進を図ります。
- ⑦ 平成20年度に着手した、総合水系環境整備事業(遠賀川河口堰)の事業促進を図ります。
- ⑧ 堤防・河川管理施設の維持・修繕及び老朽化した樋管等の適切な更新を図るため、河川維持管理・河川工作物関連応急対策事業を継続実施します。

遠賀川河川事務所における平成21年度主要事業について(位置図)



- ① 床上浸水対策特別緊急事業【学頭・菰田地区】
- ② 床上浸水対策特別緊急事業【直方地区】
- ③ 総合水系環境整備事業【赤池地区地域連携事業】
- ④ 遠賀川特定構造物改築事業【新日鐵用水堰】
- ⑤ 総合水系環境整備事業
【遠賀川水系エコロジカルネットワーク再生事業】
- ⑥ 総合水系環境整備事業【中島自然再生事業】
- ⑦ 総合水系環境整備事業【遠賀川河口堰】
- ⑧ 河川維持修繕・河川工作物関連応急対策事業

【主要事業紙芝居①】

がくとう・こもだ 床上浸水対策特別緊急事業（学頭・菰田地区）の完成を目指します

～H15.7出水対策として、排水機場の増強、調節地の整備により浸水被害の軽減を図ります～

1. 事業目的及び事業効果

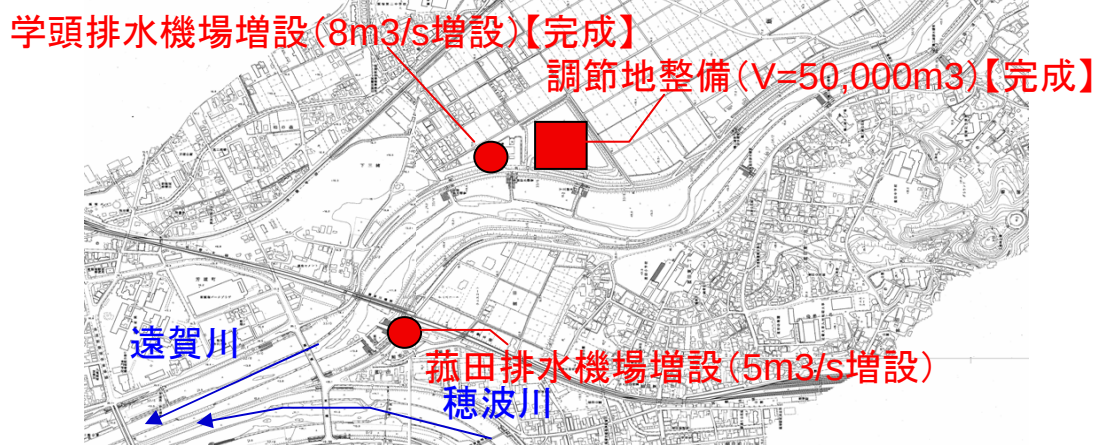
遠賀川の飯塚・穂波地区では、平成15年7月19日の集中豪雨により、飯塚市、旧穂波町の中心市街部で約2,000戸を超える家屋浸水被害が発生しました。

これを受けて、平成21年度も引き続き、菰田地区における排水機場の増強等を行い、当地区での床上浸水家屋被害の大幅な軽減を図ります。

2. 事業概要

- 事業箇所：福岡県飯塚市（学頭・菰田地区）
- 事業期間：平成17年度～平成21年度（予定）
- 事業費：約34億円（H21年度事業費：約7.0億円）
- 事業内容：菰田排水機場 5m³/s増設（既設15m³/s）、
学頭排水機場増設 8m³/s増設（既設10m³/s）、調整地整備
- 平成21年度実施内容：菰田排水機場関連工事（ポンプ増設、機電設備）

3. 位置図等



【主要事業紙芝居②】

床上浸水対策特別緊急事業（直方地区）^{のおがた}の完成を目指します

～排水機場の整備により、直方中心市街部の慢性的な浸水被害の軽減を図ります～

1. 事業目的及び事業効果

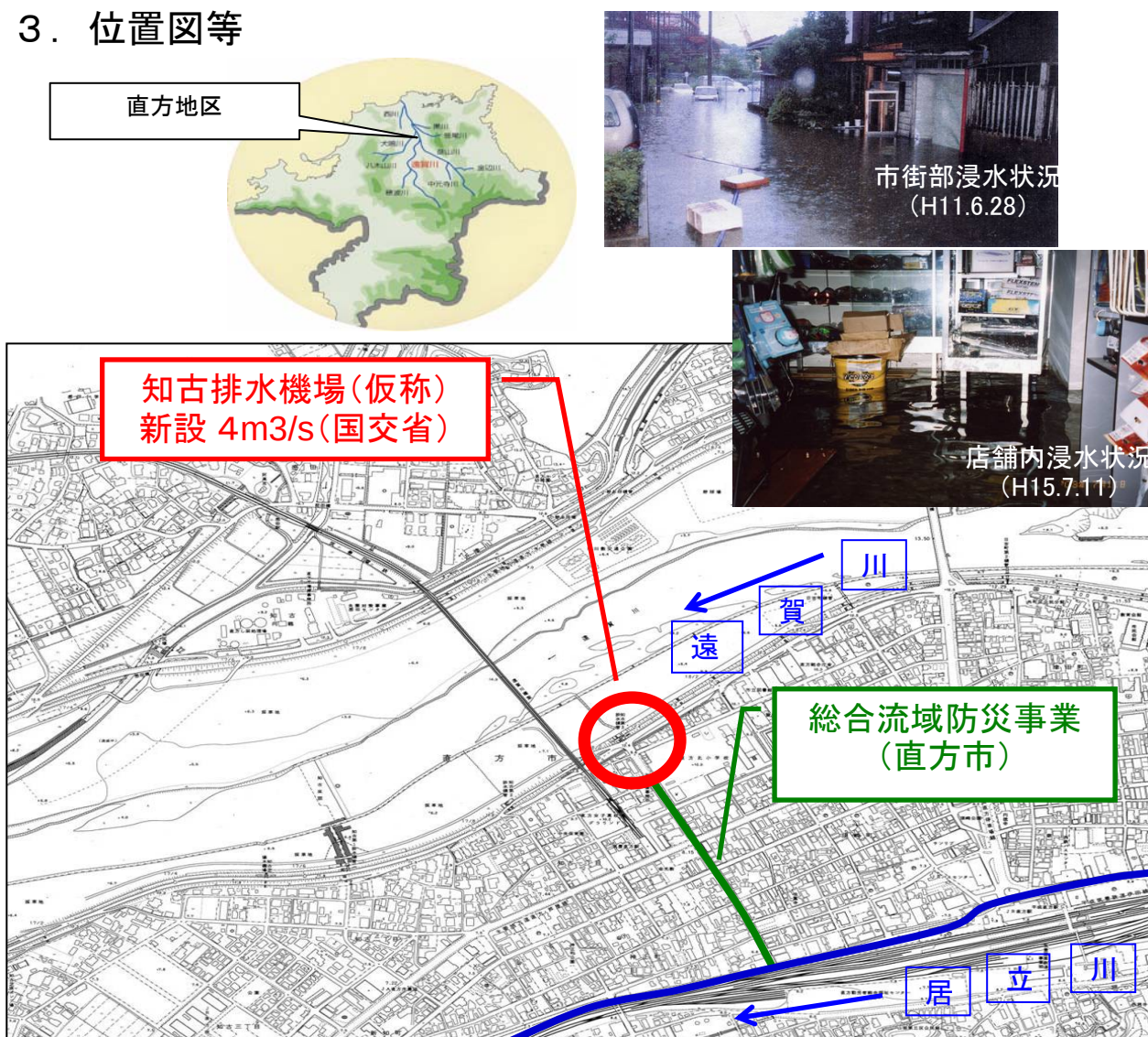
平成15年7月11日集中豪雨の浸水被害等、直方中心市街部は慢性的な床上浸水被害が発生しており、特に直方駅前に集中する商店街等においては、幾度と無く浸水に見舞われ、店舗の営業に支障をきたすなどその被害は甚大なものでありました。

これを受けて、平成21年度についても引き続き直方市と協働し、居立川の総合流域防災事業等とあわせて内水対策としての排水機場を整備することにより、直方中心市街部及び商店街の慢性的な床上浸水被害の軽減を図ります。

2. 事業概要

- 事業箇所：福岡県直方市（知古地先）
- 事業期間：平成17年度～平成21年度（予定）
- 事業費：約10億円（H21年度事業費：約4.8億円）
- 事業内容：排水機場 4m³/s（新設）
- 平成21年度実施内容：排水機場関連（本体工、上屋工、ポンプ新設、機電設備）

3. 位置図等



【主要事業紙芝居③】

総合水系環境整備事業(赤池地区地域連携事業)^{あかいけ}

～散策路や親水施設などを整備し、世代を超えて人々がふれあえる河川空間を作ります～

1. 事業目的及び事業効果

当地区は、遠賀川と彦山川の合流地点から6km上流の彦山川（福岡県田川郡福智町）にあります。小中学校が隣接しており、学校による水質調査や清掃活動が行われるとともに、住民団体による毎月1回の河川清掃が実施されていますが、水際の護岸が急勾配で、安全に水辺に近づくことが出来ないため、河川での活動が制限されています。

そこで、水辺まで安全に降りることが出来る親水施設やウォーキングにも利用できる散策路を整備し、普段の利用や河川清掃活動を通じて、小中学生と地域の方がともにふれあい、良好な河川環境の保全にも資する河川空間を作ります。

2. 事業概要

- 事業箇所：福岡県田川郡福智町（赤池地区）
- 事業期間：平成19年度～平成21年度（予定）
- 事業費：約2.39億円（H21年度事業費：1.16億円）
- 事業内容：親水施設の整備等
- 平成21年度実施内容：散策路整備等

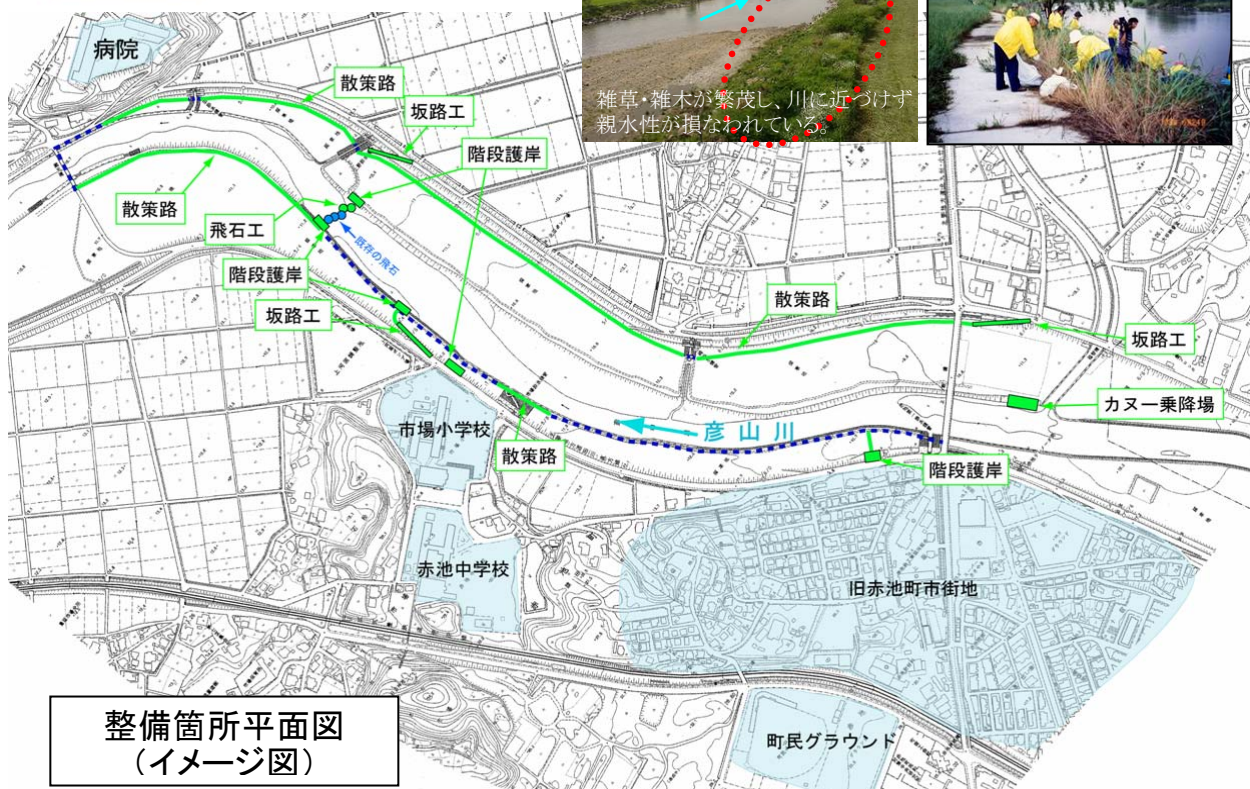
3. 位置図等



地元では、地区の河川整備について考える『子どもの水辺協議会』を定期的に行っています。

◆協議会メンバー

- ・福智町
- ・福智町教育委員会 学校教育課
- ・周辺の学校（市場小学校、赤池中学校）
- ・住民団体（彦山川夢の会、子供会育成連合会等）



【主要事業紙芝居④】

遠賀川特定構造物改築事業【新日鐵用水堰】

～堰改築による治水安全度の向上～

1. 事業目的及び事業効果

遠賀川11k300付近に位置する新日鐵用水堰は、工業用水等を取水することを目的として昭和4年に設置された堰であり、周辺には市街地が広がっています。

当該堰付近は河床が高く洪水の安全な流下を阻害する要因となっていることから、河道拡幅とそれに伴う堰改築を行い、河道断面を確保して、洪水時の水位を低下させることで被害の軽減を図ります。

なお、本事業は、新日本製鐵(株)との共同事業として行うものです。

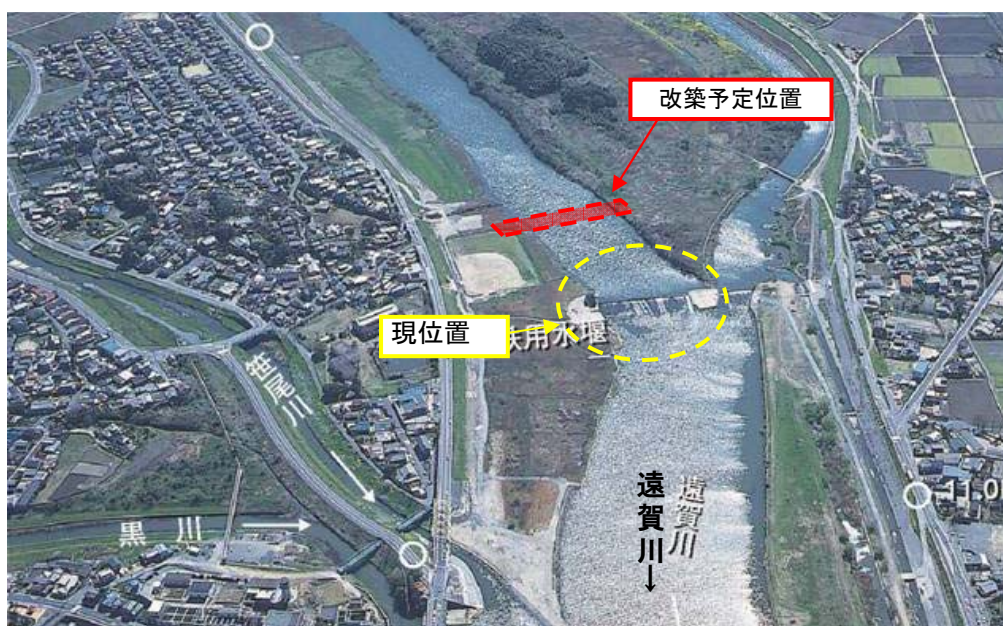
2. 事業概要

- 事業箇所：福岡県中間市
- 事業期間：平成21年度～平成27年度（予定）
- 事業費：約130億円（H21年度事業費：1.22億円）※
- 事業内容：河道拡幅・堰の改築
- 平成21年度実施内容：工事実施に向けた堰本体の詳細設計等を実施

3. 位置図等



新日鐵用水堰(現在)



※現時点での事業費。コスト縮減等については、今後、詳細設計等を実施し精査するもの。

【主要事業紙芝居⑤】

総合水系環境整備事業(遠賀川水系エコロジカルネットワーク再生事業)

～エーコロ愛でみんながつながる川づくり～

1. 事業目的及び事業効果

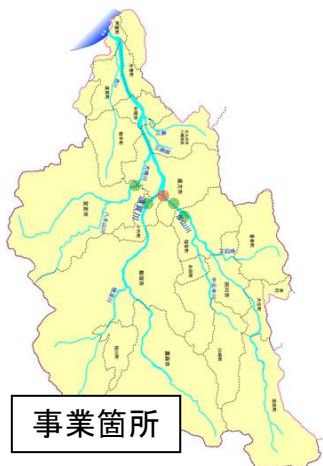
遠賀川河川事務所では平成6年より「魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業」の一環として、堰等に魚道を取り付けるなどの対策を行ってきた結果、近年ではサケやアユといった種の回遊魚が上流域でも確認されるようになりました。本川における魚類等の縦断的な移動経路が回復しつつある一方で、本川と水田（水路等含む）の横断的な移動経路については、水門および排水路内の段差等が移動障害となっており、水田（水路等含む）との関連性が強いドジョウ類・ナマズ・メダカなどの確認数が極めて少ない状況にあります。

そこで、水門出口及び本川合流部における段差を解消し、近傍の水田・水路等との連続性を回復させるとともに、本川およびコンクリート3面張り水路を改良することで水際環境を多様化し、ドジョウ類・ナマズ・メダカ等の生息環境改善を図ります。

2. 事業概要

- 事業箇所：福岡県直方市ほか4地区
(事業箇所は自然再生計画の修正等で変更することがあります。)
- 事業期間：平成21年度～平成30年度(予定)
- 事業費：約11.6億円(H21年度事業費：0.56億円)
- 事業内容：エコロジカルネットワークの再生
(排水路改良、緩傾斜河岸、湿地造成、自然観察路整備)
- 平成21年度実施内容：排水路改良

3. 位置図等



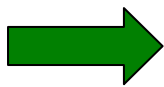
事業箇所



整備イメージ図

水門および排水路内における段差が移動障害となっているため、魚類等が本川と水田を行き来できません。

水門および排水路内の段差を改善するために、自然石等を用いた緩やかな形状の魚道を設置します。



改良イメージ



【主要事業紙芝居⑥】

総合水系環境整備事業(中島^{なかしま}自然再生事業)

～流域や河川の多様な景観を復元・創出し、自然と人々のふれあいを育む遠賀未来の川づくり～

1. 事業目的及び事業効果

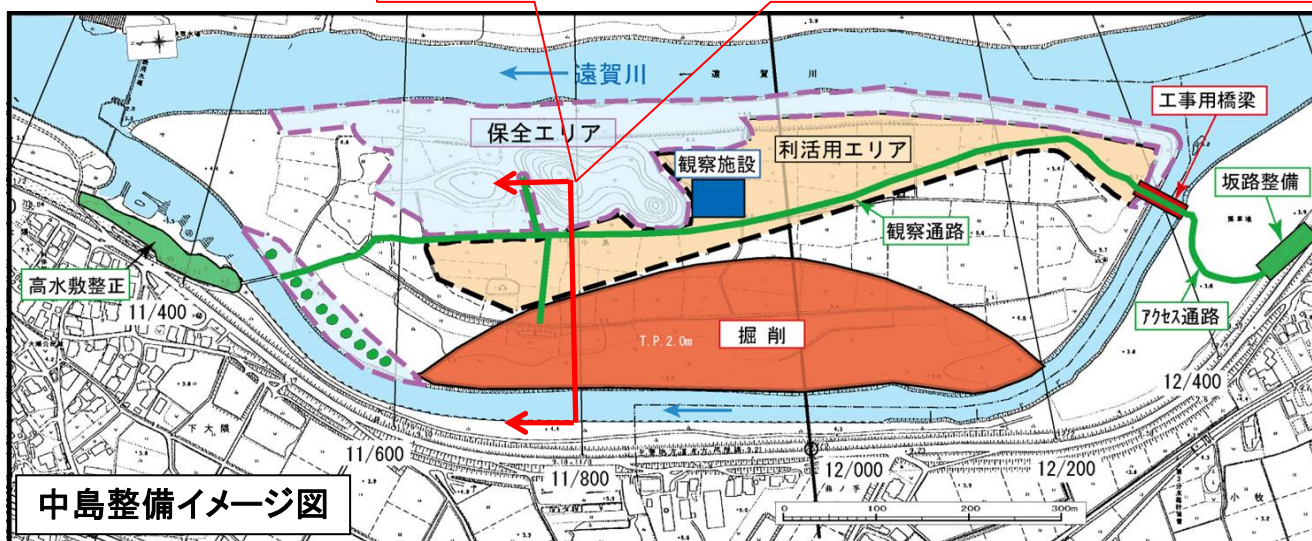
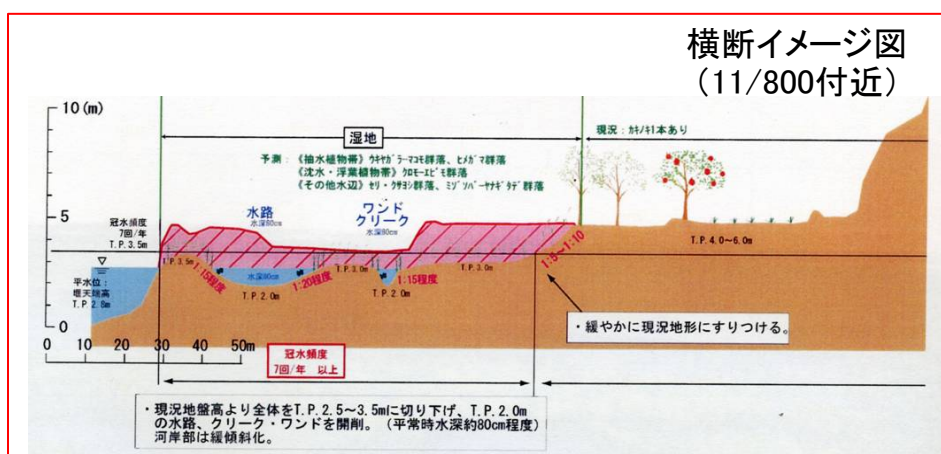
遠賀川中下流部では、流域の土地利用の変化や河川工事などのために、流域内の氾濫原的湿地（洪水時に氾濫していた場所）や河道内湿地（川の中のたまりや池など）が著しく減少しました。また、コンクリート護岸の設置により水際環境の単調化が進み、様々な生き物が住む空間が減少し、生物多様性が低下したと推測されます。

そこで、中間市付近にある中島において、流域及び河川で失われた氾濫原やヨシ原を、その景観も考慮して復元・創出することで、多様な生き物のゆりかごとして次世代に引き継ぐ未来の遠賀川の川づくりを行います。

2. 事業概要

- 事業箇所：福岡県中間市（中島地区）
- 事業期間：平成16年度～平成29年度（予定）
- 事業費：約8.94億円（H21年度事業費：2.14億円）
- 事業内容：中島掘削による湿地の創出
- 平成21年度実施内容：中島掘削

3. 位置図等



総合水系環境整備事業(遠賀川河口堰)

～魚道の改築・新設を行い、遠賀川水系全体の魚類の多様性の回復を図ります～

1. 事業目的及び事業効果

遠賀川河口堰の魚道は、遠賀川水系最下流に位置することから、その魚道は水系全体に亘る魚類の遡上や降下の出入り口であり、遠賀川の魚介類の生息・生育環境の起点となる重要な魚道であります。このため、平成20年度より自然再生事業に着手し、魚道機能を向上することにより、遠賀川水系全体の魚介類の多様性（サケの遡上等）の回復を図るとともに、環境教育の場としての利用を促進します。

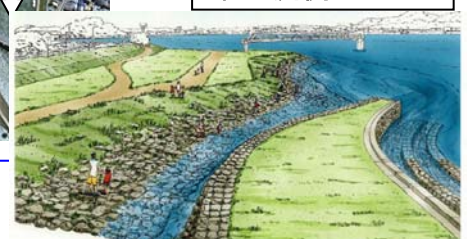
2. 事業概要

- 事業箇所 : 福岡県遠賀郡芦屋町（遠賀川河口堰）
- 事業期間 : 平成20年度～平成24年度（予定）
- 事業費 : 約6.9億円（H21年度事業費：約0.5億円）
- 事業内容 : 魚道改良・新設
- 平成21年度実施内容：実施設計

3. 位置図等



堰下流側イメージ



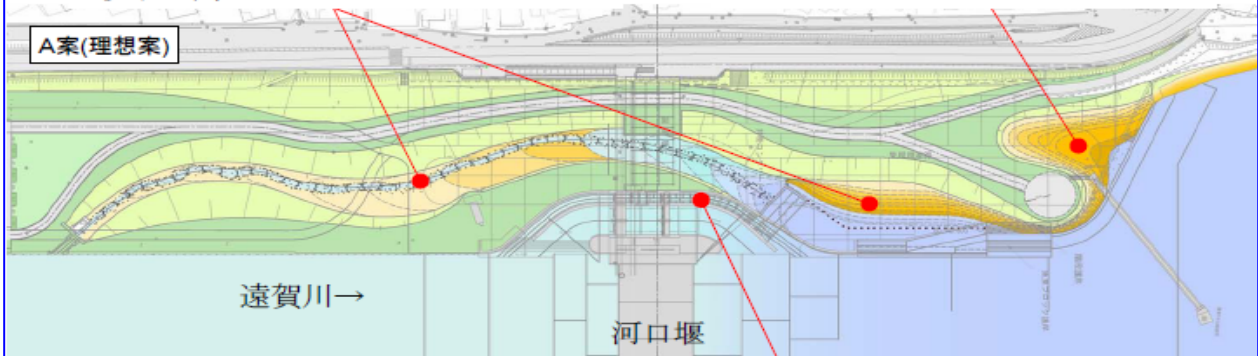
魚道改良全体平面イメージ

2. 多自然魚道、干潟の新設

- ・遊泳力の弱い魚、底生魚のための魚道
- ・親水空間

3. 入江干潟の整備

- ・遡上ルート確保、遡上魚の誘導、待避・避難所機能の確保
- ・河口域の生物相の多様化



○基本的な考え方(4原則)

- ・遠賀川の原材料を活かす
- ・自然の曲線をできるだけ活かす
- ・草付きの河岸をできるだけ再現する
- ・狭くとも干潟を再現する

1. 現魚道改良

大型魚用と小型魚用の2条に分割

小型魚用
(アユなど)

大型魚用
(サケなど)



【主要事業紙芝居⑧】

河川維持修繕・河川工作物関連応急対策事業

～河川管理施設の維持修繕及び老朽化した樋管等の適切な更新【安全・安心の確保】～

【河川維持修繕】

河川管理施設の維持修繕（堤防及び高水敷除草、堤防法面補修、護岸補修、塵芥処理など）、河川巡視、堤防点検及び水閘門操作委託などを実施します。

【河川工作物関連応急対策事業】

空洞化を起こしている樋管や函体の損傷が激しい樋管について、空洞部の間詰めや函体補修といった応急対策工事を実施します。

河川維持修繕による対応状況
【護岸・樋管開水路補修】

補修前



補修後



河川工作物関連応急対策事業
による対応状況
【樋管函体補修】

補修前



補修後

